



村民が主役の

「協働のまちづくり」を推進

任期満了に伴う美浦村長選挙は4月21日告示され、無投票で中島栄村長が再選されました。

三期目の任期の初日となる5月15日、中島村長は役場本庁舎玄関前において、多くの村民の方や職員に拍手と花束で迎えられました。今期の主要施策に、アクセス道路の整備、地区計画に基づく新たな商業地や交流拠点の形成、子育て支援、営農環境充実と担い手の育成等、地域活性化の根幹となる事業や、役場庁舎、中学校武道館・体育館の耐震対策等、安心安全のための事業を掲げ、村長以下役場職員一丸となって取り組んでいきます。

就任のごあいさつ

美浦村長 中島 栄

このたびの4月の統一地方選において、無投票により再選という結果となり、再び美浦村長としてこれからの村政を担っていくにあたり、改めて村民の皆様の信任の大きさ、職責の重さを感じるとともに、身の引き締まる思いでございます。

これまでも、村政執行において山積する多くの課題を、役場職員はもとより、村議会議員各位の広い見識のもと、村民の期待に添うべく誠意研鑽を重ね、「人と自然が輝くまち美浦」づくりにまい進してまいりました。

今、美浦村が置かれた社会的環境を見ますと、全国的に少子高齢化とともに人口の減少が進み、地方の抱える課題は深刻であり、都市部と地方の格差が広がっております。地方への人の流れをつくるべく、国は地方創生本部を立ち上げ、地方が特徴を生かした社会を創生できるよう「まち・ひと・しごと創生戦略」の支援が始まりました。美浦村も自律的で持続的な社会を目指し、地域主権の確立に向けて住民自らが村政に参加できる「自分たちのまちは、自分たちで創り守る」という協働のまちづくりを掲げてまいりました。

美浦村の先人たちが築いてきた伝統文化や、霞ヶ浦をはじめとした豊かな自然環境と景観は、私たちがその保全と活用を未来に繋いでゆかなければなりません。

住民と行政が手を携えて、「村民が主役」の村民による村民のための村政を推進して参る所存ですので、皆様方のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。